

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	湯沢市	代表者名	佐藤 一夫		
担当者部署	ふるさと未来創造部	連絡先電話番号	0183568133		
担当者役職	主査	担当者氏名	柿崎 弘樹	連絡先E-mail	
住所	012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	事前MTGを2回にして丁寧に擦り合わせができたため、当市が求めている内容に沿った研修ができたように思う。仮説の立て方や検証方法などEBPMの理論や、実際にウェルビーイング指標やRESASを使った演習までできたことで、今後EBPMを実践していく上での基礎が身に付いたことに加え、とはいえ自治体にはハードルも多いので…という建前と本音のような話を聞くことができ参加者の安心感が繋がったと思います。また、質問に対する引き出しが多く、ファーストステップとして今回のアドバイザーをお願いしてよかったと感じました。
アドバイザー への要望事項	午後の演習パートの時間が短かったという声がありました。もう少し仮説設定の演習部分を充実させると良いかもしれません。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年8月4日	支援・助言（実地）	有	令和5年6月27日	743
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年8月4日	支援・助言（実地）	10時00分	16時30分	60
				活動時間（分）	330
3-2. 派遣場所	会場名	湯沢市役所本庁舎	最寄駅	JR湯沢駅	
	所在地	秋田県湯沢市佐竹町1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
------	------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	38人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	令和5年2月に策定した「湯沢市職員DX行動指針（CREDO）」では、「前例にとらわれず、新しいチャレンジをしていく」方針を決定しているが、無謀なチャレンジを良しとするものではない。DX推進の一環として職員の行動やマインドをチェンジし、無難に過去の慣例を踏襲する姿勢を打破するため、チャレンジを生み出す根拠としてEBPMをしっかりと根付かせたい。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	オフラインでのワークショップに参加した職員にデータ活用の必要性を理解してもらい、EBPM本格導入に向けたマインドを醸成したい。	

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	データを使った政策立案の必要性についてレクチャーいただき、実際にウェルビーイング指標を使った仮説設定やRESASなどを使った検証方法などを演習形式で指導いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今回の支援では「EBPMとは何か」という部分を理解するというのが目的でした。アンケートでは4割の参加者がEBPMの内容までは理解していない状態であったが、全体の8割が「理解しやすい内容だった」と評価しており、今回の支援により、EBPMの必要性と活用方法について学ぶことができたと思われます	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	EBPM支援サービスを導入するにあたり、EBPMとはどんな概念でどのように使うのかという利用する上での基礎知識を得ることができました。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の支援に参加していない職員に対する浸透をどのようにしていくか、全体に広げるためにも市におけるモデルケース(活用事例)が必要だと感じました。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 4割の参加者がEBPMの内容までは理解していない状態であったが、全体の8割が「理解しやすい内容だった」と評価したほか、参加者全員がEBPMに取り組みたいという意欲を示しておりますが、定着を図る上でも定期的な勉強会のような場が必要という認識をしました。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑥その他
事業の最終的な目指す姿	民間のEBPM支援サービスを導入し、今回の支援事業を受けて本格的に取り組みを進め、新規事業の立ち上げにおけるKPI設定などに活用していく。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

